

「論理・表現Ⅱ」	教科	英語	単位数	2単位
	学科、学年、組	全学科、3学年、全組		
使用教科書	「VISTA Logic and Expression Ⅱ」(三省堂)			
副教材等				

### 1 科目のねらい(目標)

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の文法事項を参考にして、さらなるコミュニケーションのためのことばの知識・技能習得に励む。ことばを通して思考力・判断力・表現力を高め、豊かな言語観を育成する。</li> <li>・SDGsに関連した題材に取り組み、地域・他民族の個性を尊重する姿勢や豊かな文化観、真の国際理解のための資質・能力を養う。</li> <li>・特に話したり書いたりすることを通して、人間としての生き方やものの見方や考え方、ならびに世界観に目を向けさせる。さらに、多様化する社会の中で自らの力で考え、判断し、表現できる力を培う。</li> </ul>
---------	--

### 2 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、以下の観点についてそれぞれABCで評価し、各観点の割合を基に評定(5段階)で総括します。

評価の規準 A:十分満足できる、B:おおむね満足できる、C:努力を要する

評価の観点及び内容		観点の割合	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。</li> <li>・外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</li> </ul>	40%	・定期考査
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	30%	・定期考査
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	30%	・課題・授業態度 ・パフォーマンステスト

### 3 学習計画

学期	学習内容	学習のねらい
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人物やキャラクターを描写する。</li> <li>・宇宙旅行の応募フォームを完成させる。</li> <li>・英語で道案内をする。</li> <li>・世界のおすすめスポットの紹介ポスターを作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象をイメージ化するため、適切な質問や描写に関する英語表現が使えるようにする。</li> <li>・自分の体験したいこと、希望することを記入できるようにする。</li> <li>・案内係やガイドのロールプレイで道順を説明できるようにする。</li> <li>・具体的な説明をする英文をマスターする。受動態を使いこなす。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広告から必要な情報を読み取る。</li> <li>・ロボットについて考え、コンテスト応募のエントリーシートを作る。</li> <li>・和食の作り方を紹介するために、レシピを書く。</li> <li>・シェアハウスの「ルームメイト募集」の広告を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図表から事実や証拠を示したりする表現をマスターする。英語での面接で使用するフレーズが使えるようにする。</li> <li>・提案や申し出に関する表現を学ぶ。</li> <li>・数量や順序を表す表現を用いて、海外の人たちに和食をアピールする。</li> <li>・配置を示す表現や対比する方法を学び、部屋の特徴を読み取る。</li> </ul>

3	<ul style="list-style-type: none"><li>・バイオミクリーについて知り、それを取り入れた製品のポイントを発表する。</li><li>・SDGsの目標について理解する。社会問題と解決策について自分の考えを示す。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・プレゼンテーションを効果的にするために、呼び名や役割を果たす表現や理由を表す表現を使いこなせるようにする。</li><li>・出典や引用など情報源を示す表現を使いこなす。関係代名詞や助動詞を使うことで、自らの意見を効果的に示す。</li></ul>
---	---	---